

活性化モデル商店街の概要

商店街名：春日井市商店街連合会※

【※春日井駅前商店会、鳥居松商店街振興組合、鳥居松本通商店街振興組合、鳥居松広小路商店街振興組合、東野商店街振興組合、篠木発展会、繁田発展会、高蔵寺商店街d振興組合、いちょう並木通発展会、イオン同友店会、19号発展会、味美商店街振興組合、勝川駅前通商店街振興組合、勝川駅東商店街振興組合】

●キャッチフレーズ

商店街は公共であり文化である

◎商店街の将来ビジョン

【現状と課題】

- ・ 市内各地区が独自に発展しているため、市全体の核となる商店街が形成されていない。また、大型店の出店や後継者不足から既存商店街において空き店舗が増加してきている。

【対策】

- ・ 商店街の組織力を生かした地域及び商業を活性化させる事業を展開させていくとともに、空き店舗の解消やまちづくりに対する商店街組織内の意識を向上させていく。

◎具体的に取り組む事業内容

○商店街まちゼミ事業（29年度～32年度）

“その道のプロ”である商店主が、ちょっと暮らしに役立つ情報や知識をゼミナール形式で地域消費者に教授する。

○まちの担い手養成塾事業（29年度～32年度）

自店の店舗経営やマーケティングを学び、商店街の活性化プランづくりに取り組むことで、個店や商店街の課題を解決し、個店の繁栄や商店街を含む地域全体の活性化に取り組む「次世代リーダー」を育成するため、商店街の若手後継者等を対象として開催する。

○アトム通貨事業（29年度～32年度）

「環境」「地域」「国際」「教育」をキーワードとする地域通貨である“アトム通貨”を、理念に合致するイベントやプロジェクトを実施する団体などに配布する。

○防犯・防災事業（29年度～32年度）

地域住民が災難に遭いそうになったときに気軽に駆け込めるよう、商店街の店舗を防犯駆け込みの店として登録する。